

「言語・文化習得論/文化心理学概論 (2013 年度後期)」: 授業評価アンケート結果とその考察

英語教育専修・国際理解教育コース

「言語・文化習得論/文化心理学概論」は、英語教育専修および国際理解教育コースの学生にとっての選択(必修)科目として位置づけられている。今年度は、担当予定教員の年度途中での退職により、後学期開始前に急遽担当者が筆者に変更となった。内容的には、幼児の母語獲得に焦点を絞り、(a) 母語獲得と一般的学習の相違、(b) 言語獲得に関わる生得的基盤とその根拠、(c) 言語獲得の初期段階(喃語期, 1 語期, 多語期初期), (d) 幼児の見せる文法的誤りとその理論的意義、(e) 文法規則の拡張/変化、といった内容を扱った。次年度以降(長期間に亘って)筆者がこの授業を担当するのかどうかは現時点では不明であるが、今年度のこの授業で扱った内容を他の言語学/英語学関連の授業に今後組み込んでいくことも可能である。この理由により、今年度はこの授業についての授業評価について報告し、その結果を簡単に検討する。

この授業は、基本的には筆者が担当する他の授業と同様に、(a) 全ての回が担当者自作のワークシートに基づいて進められる、(b) 毎回の授業時に内容確認シート(出席カードを兼ねる)を用意し、学んだ内容を授業終了時に振り返る、(c) 内容確認シートを、採点した上で必要があればコメントおよび質問に対する回答を添えて返却する、(d) 成績評価に持ち帰りワークシートを使用する、という方針で計画された。しかし、担当者変更が急であったことが災いして、授業資料の中に設問や作業を盛り込むことが出来なかった回(実質的にはワークシートにならない)や設問や作業の数がごく少数に留まる回も目立った(これは取り扱う内容に因る部分も大きい)。また最終 2 回では、内容確認シートを用意せず、単なる出席確認シートを配布するに留まった。

以下では、授業評価アンケートの結果(回答者数 23 名)を報告し、各項目に関し若干の考察を行う。

A あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。(1. 全く意欲がわかなかった: 0/23; 2. あまり意欲的に取り組まなかった: 3/23; 3. どちらとも言えない: 10/23; 4. やや意欲的に取り組んだ: 10/23; 5. 非常

に意欲的に取り組んだ: 0/23; 平均値: 3.30)

B この授業で使われた授業資料についてお尋ねします。

B-1 全般的に言って、授業資料の難易度についてどう思いますか。(1. 非常に難しかった: 0/23; 2. やや難しかった: 14/23; 3. ちょうどよい: 8/23; 4. 比較的やさしかった: 1/23; 5. 非常にやさしかった: 0/23; 平均値: 2.43)

2 を選択した学生が半数以上(14/23)であり、平均値も 2.43 である。この質問項目に関しては平均値が 3.00 前後に落ち着くことが期待されるが(例えば 2012 年度の「英語学/英語学 I」では当該項目への評価の平均値は 2.91)、難易度がやや高すぎたようである。今後同じ内容の授業資料を用いる際には改善したいところである。

B-2 それぞれの授業資料の種類、難易度に左右される部分が多いと思いますが、全般的に言って授業資料に沿ったかたちで進められた担当教員の話しは分かりやすかったですか。(1. 非常に分かりにくかった: 1/23; 2. やや分かりにくかった: 4/23; 3. どちらとも言えない: 5/23; 4. 比較的分かりやすかった: 12/23; 5. 非常に分かりやすかった: 1/23; 平均値: 3.35)

4 あるいは 5 の肯定的な評価をした学生は辛うじて過半数に達したが(13/23, 57%)、1 あるいは 2 の否定的な評価をした学生も 5 名(22%, 5/23)いた。後者の数値は筆者が担当する他の授業の当該の数値—例えば 2012 年度の「英語学/英語学 I」では 3/21(14%)—よりも高く、今後同じ内容の授業資料を使用する上では注意と工夫が必要となるだろう。また設問、作業等を設けなかった回が多かったことがこうした評価に反映されている可能性がある。

B-3 授業資料から学んだ内容およびそれに関連する担当教員の話しは、(難易度は別にして)あなたにとっておもしろい(知的好奇心をくすぐる、といった意味で)ものでしたか。(1. 全くおもしろくなかった: 0/23; 2. あまりおもしろくなかった: 1/23; 3. どちらともいえない: 4/23; 4. 比較のお

もしろかった: 16/23; 5. 非常におもしろかった: 2/23; 平均値: 3.83)

この項目に関しては、4あるいは5の肯定的な評価をした学生は 18 名(78%)であり、例えば 2012 年度の「英語学/英語学 I」の 14/21(67%)よりも高い数値となっている。ある程度受講学生の知的興味を引きつけることの出来る話題を揃えられたのではないかと考えている。ただし今回は 15 回の授業の中での話題の展開であったため、今後別の授業に同じ話題を組み込んでいく際には時間配分等の工夫をせねばならない。

C この授業の担当教員についてお尋ねします。

C-1 担当教員は、受講者にとって参加しやすく、かつわかりやすい授業を行おうとする努力、工夫をしているように感じられましたか。(1. 全く感じられなかった: 0/23; 2. あまり感じられなかった: 2/23; 3. どちらとも言えない: 8/23; 4. 比較的強く感じられた: 12/23; 5. 非常に強く感じられた: 1/23; 平均値: 3.52)

4 あるいは 5 の肯定的な評価をした学生は 13 名(56%)と辛うじて過半数に達するに留まった。この数値は、例えば 2012 年度の「英語学/英語学 I」の 18/21 (86%)と比べて顕著に低いものとなっている。この点も、授業資料中に設問、作業等を設定しない回が多かったことを反映しているのかも知れない。

C-2 担当教員は、受講者の意見や疑問をくみ取り、かつそうした意見や疑問に真摯に答えようとしているように感じられましたか。(1. 全く感じられなかった: 0/23; 2. あまり感じられなかった: 2/23; 3. どちらとも言えない: 3/23; 4. 比較的強く感じられた: 11/23; 5. 非常に強く感じられた: 7/23; 平均値: 4.00)

4 あるいは 5 の肯定的な評価をした学生は 18 名(78%)であり、例えば 2012 年度の「英語学/英語学 I」の 16/21 (76%)と比べて大きな差はなかった。毎回の内容確認シートあるいは出席確認シートに記入された質問には出来る範囲で解答することを心がけており(この点は他の授業と違いはないが)、その点を反映しているのではないだろうか。

D 各回の内容確認シートについてお尋ねします。内容確認シートは、当該の回に学んだ内容を振り返ったり、理解を深めたりするのに有益だと思えましたか。(1. 全く有益には思えなかった: 0/23; 2. あまり有益には思えなかった: 1/23; 3. どちら

とも言えない: 1/23; 4. 比較的有益なように思えた: 15/23; 5. 非常に有益なように思えた: 6/23; 平均値: 4.13)

4 あるいは 5 の肯定的な評価をした学生は 21 名(91%)であり、例えば 2012 年度の「英語学/英語学 I」の 16/19 (84%, 無記入者 2 名)と比べても高い数値となっている。内容確認シートは、他の授業と同様に、好意的に評価されているものとみてよいだろう。今後も他の授業も含めて、内容確認シートの使用を継続するとともに、その内容の検討もすすめたい。

E あなたは、この授業を通して、人間の言語の規則性、その獲得、そしてその変化/拡張といったことに興味・関心が向くようになりましたか。(1. 全くそういった興味・関心が持てなかった: 0/23; 2. あまりそういった興味・関心が持てなかった: 0/23; 3. どちらとも言えない: 5/23; 4. そういった興味・関心をやや持つようになった: 15/23; 5. そういった興味・関心を非常に強く持つようになった: 3/23; 平均値: 3.91)

4 あるいは 5 の肯定的な評価をした学生数が 18/23(78%)であり、例えば 2012 年度の「英語学/英語学 I」の該当する質問項目に対する回答数 15/19 (78%, 無記入者 2 名)とほぼ同じ結果となった。ただし 2012 年度の「英語学/英語学 I」では 5 を選択した学生が 7/19(37%)であり、この数値に関しては 3/23(13%)と低い結果となっている。言語の規則性、その獲得、その拡張/変化についての関心がある程度掻き立てることが出来たと考えてよいだろうが、当然改善の余地はある、ということである。

F 最後にこの授業全体を振り返って、何か一言: この自由記述に回答した学生数は 9 名しかいなかったが、授業資料中に設定された問、作業の少なさを指摘する受講生が 2 名いた。今後この授業あるいは他の授業において、今年度のこの授業と同じ内容を扱う際には改善を試みたい。

まとめ

この授業についての評価は、例えば 2012 年度の「英語学/英語学 I」に比べて、低い部分が目立った(B-1, B-2, C-1)。準備期間が短く、授業の大枠を作れたものの、細かい作業、設問の設定を行えなかったことが低評価につながったものと考えられる。今後同じ内容をこの授業あるいは別の授業で扱う際には、十分に準備をした上でのぞみたい。